

【表紙写真について】

大塚製菓(株)徳島ワジキ工場(徳島県那賀郡那賀町)。注射剤やカロリーメイトブロックを製造。環境保全に取り組みながら、緑豊かな敷地内で地元自治体などとともに野外無料コンサートを開催するなど、地域との交流を図り、「地域社会と融合し、自然と調和するファクトリーパーク(公園工場)」のコンセプトを体現しています。

第7期中間 事業活動のご報告

(2014年4月1日～2014年9月30日)

<http://www.otsuka.com/>

関連情報をホームページに掲載しています
財務情報や株式情報など、より詳しい情報をホームページ
に掲載しております。ぜひご覧ください。

証券コード 4578

大塚ホールディングス株式会社





世界の人々の健康に貢献する “なくてはならない”企業を目指して

代表取締役社長 兼 CEO

樋口達夫

株主の皆様には、平素より格別のご支援・ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2014年度上半期における世界経済の状況は、新興国の成長が減速する中、米国を中心とする雇用環境の回復が世界経済を牽引し、緩やかに回復基調にあると感じています。一方、国内は消費税増税の経済への影響が想定よりも長期化し、デフレーションからは脱却しつつあるものの、力強い成長を見せるにはもう少し時間がかかる見通しです。

医療関連におけるグローバルな事業環境は、費用対効果を重視する医療技術評価などの医療費抑制策により、引き続き厳しい状況で推移しています。国内においても薬価改定による薬価低下や、積極的な後発医薬品の使用促進策が、事業に影響を及ぼしています。

このような事業環境の中、当社グループは持続的成長と構造改革を骨子とした第2次中期経営計画を2014年

8月に発表しました。本計画は2014年から5年間の姿を描いたもので、主要製品の独占販売期間満了の影響に対処するため、事業の内容を大きく変化させる新しい挑戦と、2020年以降の持続的成長を見据え、新しい種をまくための重要な期間と位置づけています。この計画が立案できたのも、第1次中期経営計画期間中に実施してきた様々な投資が順調に実を結び始めたことがベースとなっております。本計画の達成に向けて、これまで同様に長期的な視野を持ちながら事業を着実に進めてまいります。

今後も当社グループは、“Otsuka-people creating new products for better health worldwide”の企業理念のもと、世界の人々の健康に貢献する“なくてはならない”企業になることを目標に事業を展開するグローバルヘルスケア企業を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

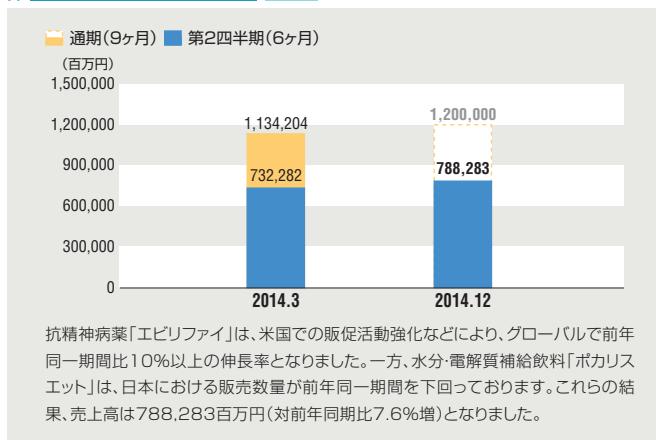
連結財務ハイライト(第2四半期累計)

Financial Highlights

当社は、連結決算日(当社の事業年度の末日)を毎年3月31日としていましたが、当期より連結決算日を毎年12月31日に変更しております。また、国内連結子会社23社についても、決算日を3月31日から12月31日に変更しています。このため、前年比較にあたっては、すべての連結対象会社について、2013年4月1日から2013年12月31日まで(第2四半期は2013年4月1日から2013年9月30日まで)の損益を連結した参考値を算出し、当該数値を記載しております。

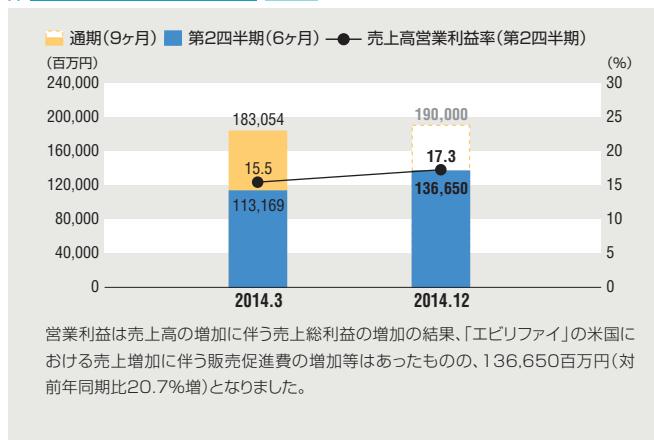
売上高

↑ 7.6%増(前年同期比)



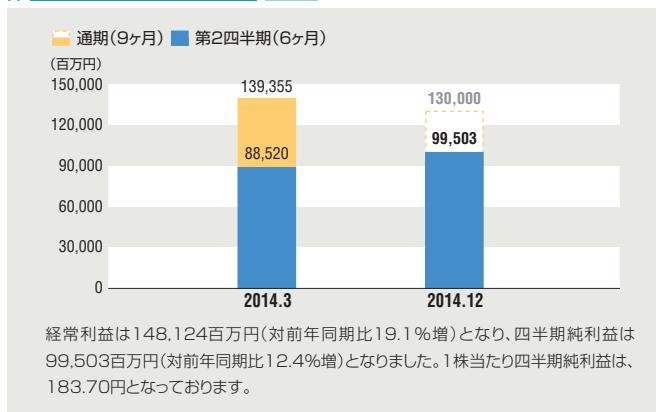
営業利益

↑ 20.7%増(前年同期比)



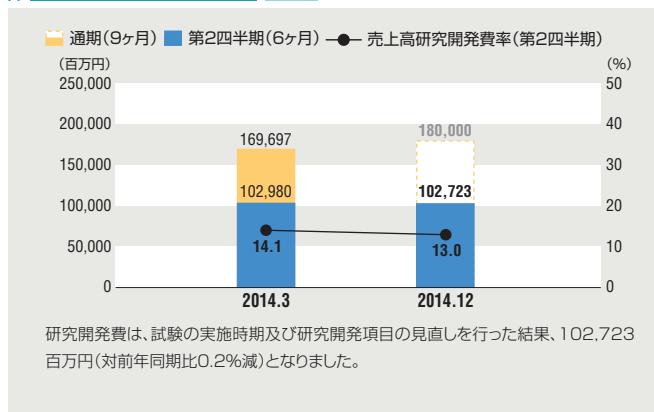
純利益

↑ 12.4%増(前年同期比)



研究開発費

↓ 0.2%減(前年同期比)



配当金

当期における中間配当金は、1株当たり35円とさせていただきます。
 当期の年間配当金につきましては、中間配当金を含め、1株当たり75円(うち期末配当金40円)を予定しております。

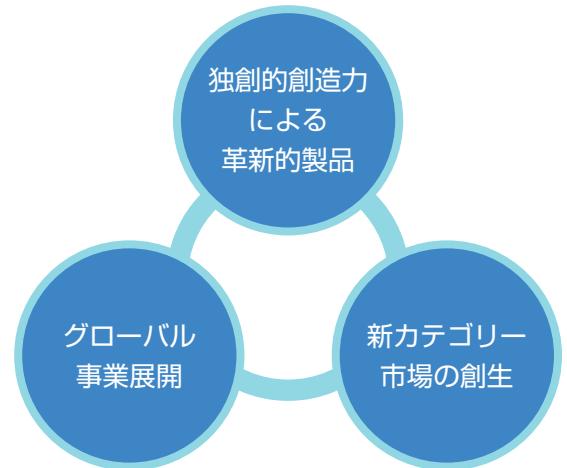
詳しい内容は、ホームページをご覧ください

<http://www.otsuka.com/>

第2次中期経営計画

“Otsuka-people creating new products for better health worldwide”の企業理念に基づき、独創的創造力による革新的製品、新カテゴリー市場の創生やグローバル事業展開を通じた事業機会の拡大に取り組みます。疾病の予防から治療までのトータルヘルスケアの考えをもとに、医療関連事業においてはいまだ有効な治療方法がない分野に注力し、ニュートラシューティカルズ*（以下、NC）関連事業は、消費者が気付いていないニーズを掘り起こし、独創的製品を生み出してまいります。第2次中期経営計画期間中には、医療関連事業のコア治療領域である中枢・がんのフランチャイズの強化、NC関連事業では変革・構造改革と成長をキーワードに、収益構造の多様化を確立してまいります。

*nutrition(栄養)+pharmaceuticals(医薬品)の造語



Otsuka-people creating new products
for better health worldwide

第2次
中期経営計画の
位置づけ

収益構造の
多様化を確立
する5年間

- コア治療領域(中枢・がん)フランチャイズの強化
- ニュートラシューティカルズ関連事業の変革・構造改革と成長
- 積極的な成長投資と株主還元

第1次中期経営計画
グローバル化と投資

第2次中期経営計画
持続投資と構造改革

第N次中期経営計画

大塚の目指すゴール

世界の人々の健康に貢献する“なくてはならない”企業

業績目標

2016年度は、「エビリファイ」特許失効の影響を受け、売上高1兆1,900億円、営業利益1,000億円になりますが、2018年度には売上高1兆4,400億円、営業利益2,000億円を目標とし、かつ2020年度以降の成長につなげる高レベルの研究開発投資を行っていきます。医療関連事業・NC関連事業・消費者関連／その他事業のそれぞれが堅実

に成長すること、中でも医療関連事業では中枢・がん・循環器領域の新製品が確実に進展していること、NC関連事業では「健康寿命」をキーワードにバリューチェーンを考えた製品の開発・マーケティング等により、高い水準の経営を目指します。

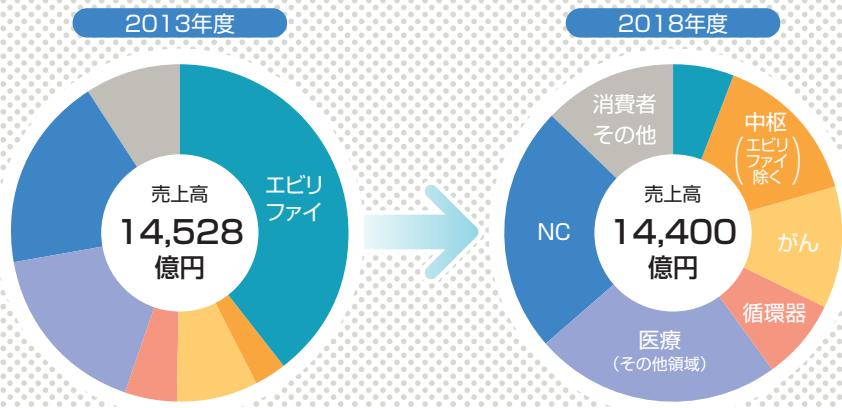
●2018年度に売上高・営業利益共に2013年度レベルへ

●2020年以降の成長につなげる高レベルの研究開発投資

単位(億円)	2013A* 実績	2016E* 目標	2018E* 目標
売上高	14,528	11,900	14,400
研究開発費	2,490	1,700	1,700
営業利益	1,987	1,000	2,000
対売上高比(%)	13.7	8.4	13.9
純利益	1,510	700	1,400
ROE(%)	10.8	4~5	8~10

●売上高構成の多様化

各コア治療領域の成長により、売上高構成が多様化

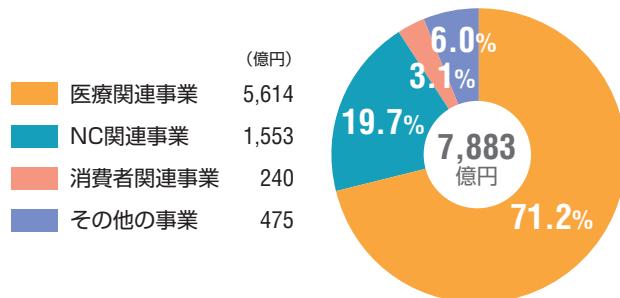


※2013Aは2013年4月～2014年3月実績、2016Eおよび2018Eは暦年での予想(2014年度より12月決算期に移行)

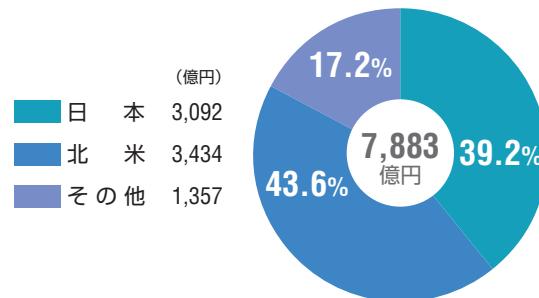
セグメント別概況

Segment Information

事業セグメント別売上高(外部顧客に対する売上高)



地域別売上高(外部顧客に対する売上高)



※各セグメントの売上高にはセグメント間の内部売上高は含まれておりません。



業績推移



医療関連事業

Pharmaceutical Segment

中枢神経領域では、抗精神病薬「エビリファイ」が米国での大うつ病補助療法や双極性障害の販促活動強化などにより、グローバルで売上が前年同一期間比10%以上の伸長率となりました。アライアンスパートナーであるルンドベック社と欧米で共同販促しているアリピプラゾール持続性注射剤(月1回製剤)「Abilify Maintena」は順調に処方拡大しています。また、日本でユーシービージャパン(株)と共同販促を行っている抗てんかん剤「イーケブラ」は、有用性に対する高い評価と小児用法・用量の追加により、売上は前年同一期間比10%以上の伸長率となりました。

がん・がんサポーター領域では、抗がん剤「ティーエスワン」が、国内では薬価改定や消費税増税前の需要増加の影響により前年同一期間比で減収となりました。抗がん剤「アブラキサン」は胃癌と非小細胞肺癌の効能追加による処方の拡大により、前年同一期間比で売上を大幅に拡大しました。また、ブリストル・マイヤーズ スクイブ・カンパニーと日米欧で共同事業を進めている抗がん剤「スプリセル」は、グローバルで慢性骨髄性白血病のファーストライン治療薬として堅調に業績を拡大しています。

循環器領域では、グローバル展開中の経口水利尿薬「サムスカ」が成長しています。2014年3月には、これまで治療薬がなかった腎臓病の難病である常染色体優性多発性のう胞腎(ADPKD)の治療薬として「サムスカ」が世界で初めて日本で承認を取得しました。

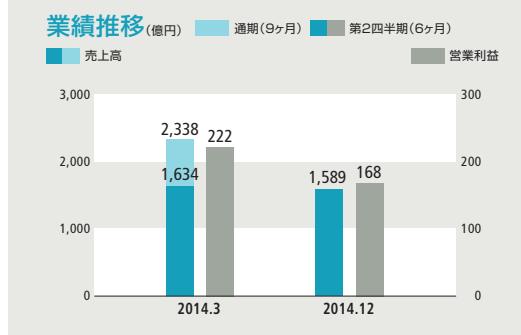
臨床栄養分野では、高カロリー輸液「エルネオパ」が、新規採用や処方拡大が進み、順調に売上を拡大中です。

当社は、連結決算日(当社の事業年度の末日)を毎年3月31日としていましたが、当期より連結決算日を毎年12月31日に変更しております。また、国内連結子会社23社についても、決算日を3月31日から12月31日に変更しています。このため、前年比較にあたっては、すべての連結対象会社について、2013年4月1日から2013年12月31日まで(第2四半期は2013年4月1日から2013年9月30日まで)の損益を連結した参考値を算出し、当該数値を記載しております。

ニュートラシューティカルズ関連事業 Nutraceutical Segment

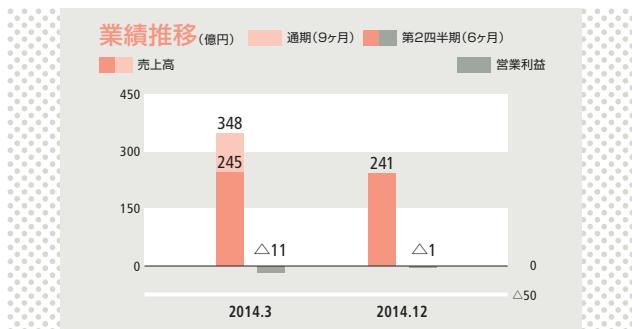
水分・電解質補給飲料「ポカリスエット」は、日本では、天候不順や競合品の影響等により、販売数量は前年同一期間を下回りましたが、海外では中国を中心に順調に成長しています。「バランス栄養食「カロリーメイト」は、2014年9月に新アイテム「カロリーメイトブロック プレーン」を発売し販売数量が伸ばしています。

大豆(Soy)が地球上の健康問題、環境問題などの解決(solution)になるという「Soylution」の考えのもと、大塚グループが推進している大豆関連事業では、大豆バー「ソイジョイ」の新アイテム「ソイジョイ アーモンド&チョコレート」の発売により販売数量が増加しました。また、ヘルシー大豆スナック「ソイカラ」は、2014年9月に新アイテム「ソイカラ チリペッパー味」を追加しました。海外においては、ニュートリション エ サンテ社が、2014年8月に健康・機能的食品でブラジルのリーダーであるJasmine(ジャスミン)社を買収し、南米への事業展開を開始しました。



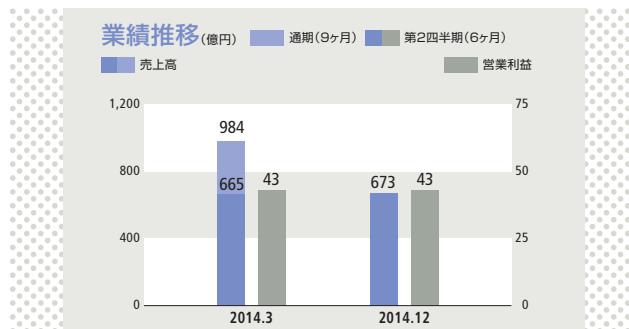
消費者関連事業 Consumer Products Segment

「クリスタルガイザー」を中心とするミネラルウォーターは、消費税増税や競合の影響により、販売数量は前年同一期間比で減少となりました。ビタミン炭酸飲料「マッチ」は、高校生をコアターゲットとしたマーケティング戦略、営業活動等を継続するとともに、2014年3月に「マッチピンク」を新発売し、販売数量は前年同一期間比で拡大しました。



その他の事業 Other Segment

機能化学品分野では、自動車業界の好調により、ブレーキ用摩擦調整剤やキャパシタ用電解液等の売上が拡大しました。また、リビングラジカル重合ポリマーの「TERPLUS」は2014年4月から新プラントが稼働し、順調に成長しています。ファインケミカル分野では、医薬中間体「YTR」の海外での販売数量減少などにより、売上は前年同一期間比で減収となりました。



※各事業セグメントの「業績推移」の金額はセグメント間の内部売上高または振替高が含まれています。

◎会社概要(2014年9月30日現在)

会社名	大塚ホールディングス株式会社 (Otsuka Holdings Co., Ltd.)
設立	2008年7月8日
資本金	816億90百万円
本店	〒101-0048 東京都千代田区神田司町二丁目9番地
東京本部	〒108-8241 東京都港区港南二丁目16番4号 品川グランドセントラルタワー
従業員	70名 (大塚ホールディングス連結従業員数:29,036名)
連結対象会社数	連結子会社 98社、持分法適用会社 17社

◎株式の状況(2014年9月30日現在)

●発行可能株式総数	1,600,000,000株
●発行済株式の総数	557,835,617株
●株主数	45,543名

◎大株主(2014年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
野村信託銀行株式会社 大塚創業家持株会信託口	62,686	11.57
大塚エステート有有限会社	22,871	4.22
大塚グループ従業員持株会	17,830	3.29
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	16,140	2.97
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	14,868	2.74
株式会社阿波銀行	10,970	2.02
大塚アセット株式会社	7,380	1.36
東邦ホールディングス株式会社	7,270	1.34
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニー レギュラーアカウント	7,048	1.30
株式会社メディアパルホールディングス	6,148	1.13

(注)持株比率は自己株式(16,177,154株)を控除して計算しています。

◎株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで ^{※1}
基準日	定時株主総会・期末配当金 12月31日 中間配当金 6月30日 ^{※2}
定時株主総会	毎年3月
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告方法	電子公告 公告掲載アドレス http://www.otsuka.com/ (ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行きます。)

※1 第7期の事業年度は2014年4月1日から12月31日まで

※2 第7期の中間配当の基準日は9月30日

◎株主優待について

対象となる株主様	毎年12月31日現在の株主名簿に記録された100株(1単元)以上の当社株式を保有する株主様
ご優待の内容	3,000円相当の当社グループ製品
ご送付時期	4月中旬から順次ご送付予定

◎株式に関するお手続きについて

株式に関する各種お手続きにつきましては、ご所有の株式が記録されている口座(証券会社等の口座・特別口座)によって窓口が異なりますので、ご留意ください。

お手続き・ ご照会の内容	特別口座に 記録された株式	証券会社等の口座に 記録された株式
単元未満株式の買取・買増請求 届出住所・氏名等の変更 配当金の受領方法・振込先の変更	特別口座の口座 管理機関である 「三菱UFJ信託 銀行株式会社」 にお問い合わせ ください。	口座を開設されてい る証券会社等にお問 い合わせください。
特別口座の残高照会 特別口座から一般口座への振替請求	—	—
郵便物の発送・返戻に関するご照会 未払い配当金に関するご照会 その他株式事務手続きに関する一般的なご照会	株主名簿管理人である「三菱UFJ信託銀 行株式会社」にお問い合わせください。	—

大塚ホールディングス株式会社

●詳しい内容は、ホームページをご覧ください

<http://www.otsuka.com/>

